

# Smooth Reader

ホームビューを

使ってみよう

判型：縦長

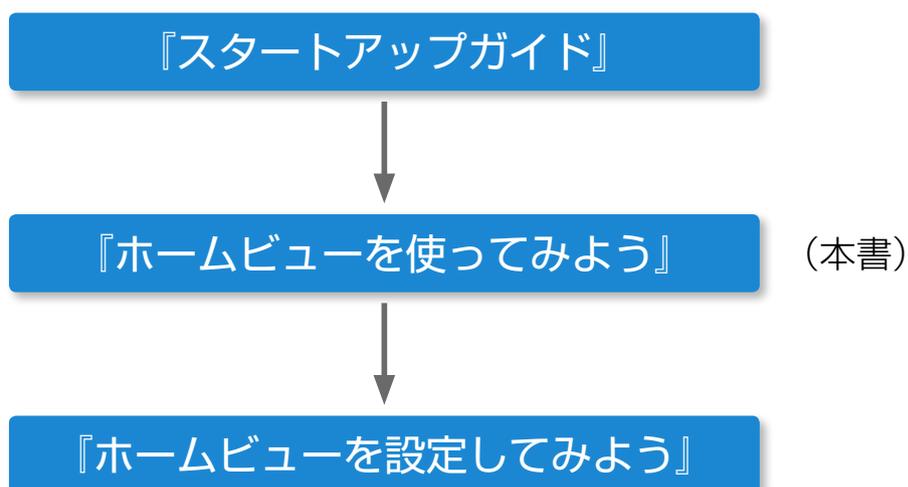
読書方向：左から右（横書き）

横置き時拡大

サンプル

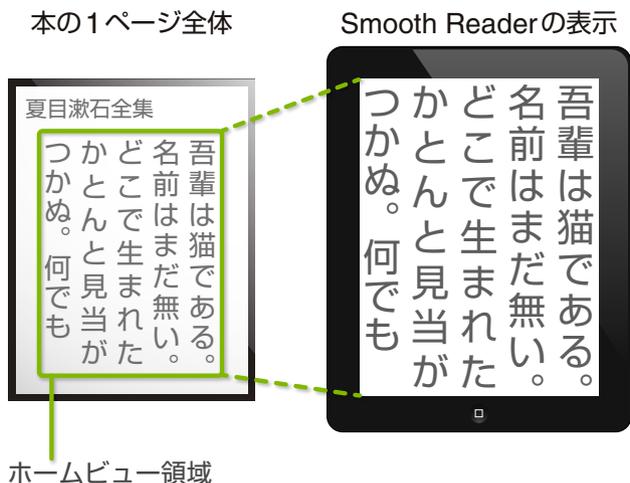


Smooth Reader に付属している解説書は、以下の順番で読み進めてください。



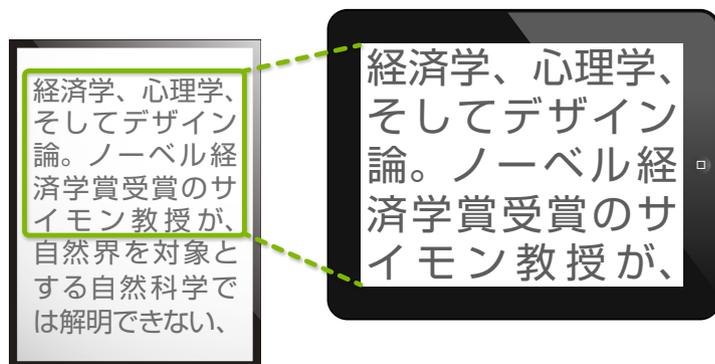
- Smooth Reader は、拡大表示のままページを読み進める**ホームビュー機能**を持っています。小さな文字の本でも快適に読書できます。
- ホームビュー機能を使うには、ページの中の**一部の領域をホームビューに設定**します。
- ページをめくると、**ホームビューの範囲が画面いっぱいに拡大して表示**されます。その分、文字が大きくなって読みやすくなります。
- ホームビューの拡大率のまま、縦方向と横方向のフリック操作だけで読み進めることができます。  
また、下辺の領域をタップするだけで読み進めることもできます。

## 1 余白を除いた領域をホームビューに設定した例



ホームビューの範囲が iPad の画面いっぱいに拡大して表示されます。

## 2 横書きの文書でホームビューを利用した例



iPad を横置きにすると、1行全体が iPad の横幅いっぱいに拡大して表示されます。

今開いている文書には、**2**のようにホームビューが設定されています。(付属の「Smooth Reader スタートアップガイド」の P.19～参照)

① それではここで、iPad を回転させて横向きにしてみてください。

→画面の横幅一杯にページが表示されて、大きな文字で読むことができます。



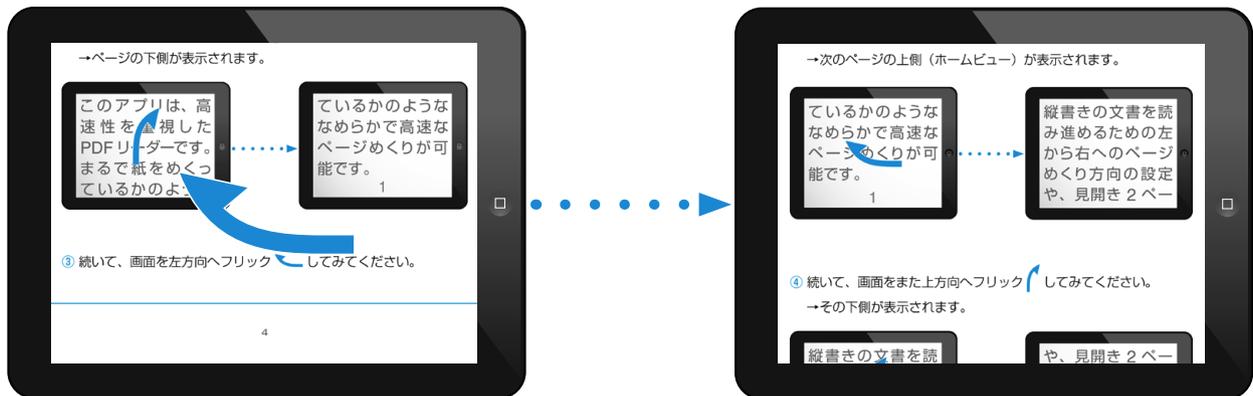
② 続いて、画面を上方向へフリック  してみてください。

→ページの下側が表示されます。



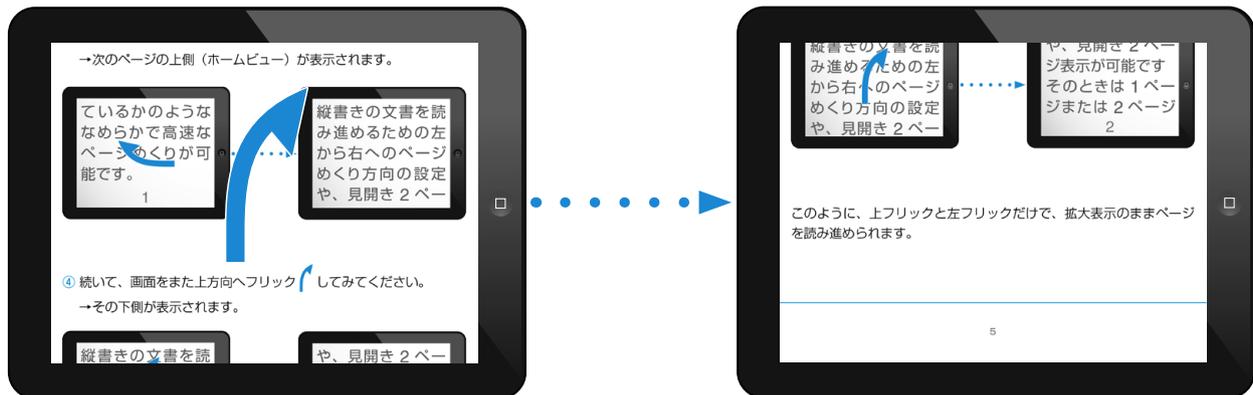
③ 続いて、画面を左方向へフリック  してみてください。

→次のページの上側（ホームビュー）が表示されます。



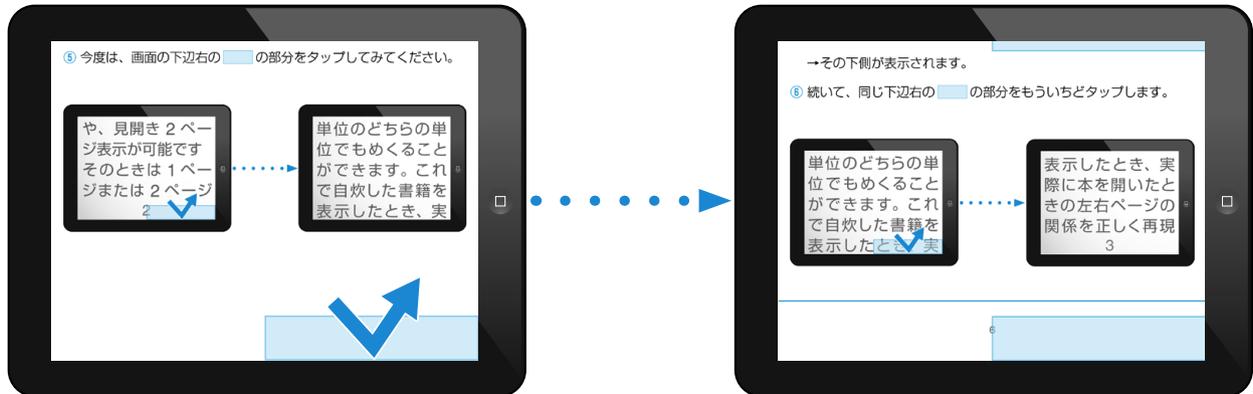
④ 続いて、画面をまた上方向へフリックしてみてください。

→その下側が表示されます。



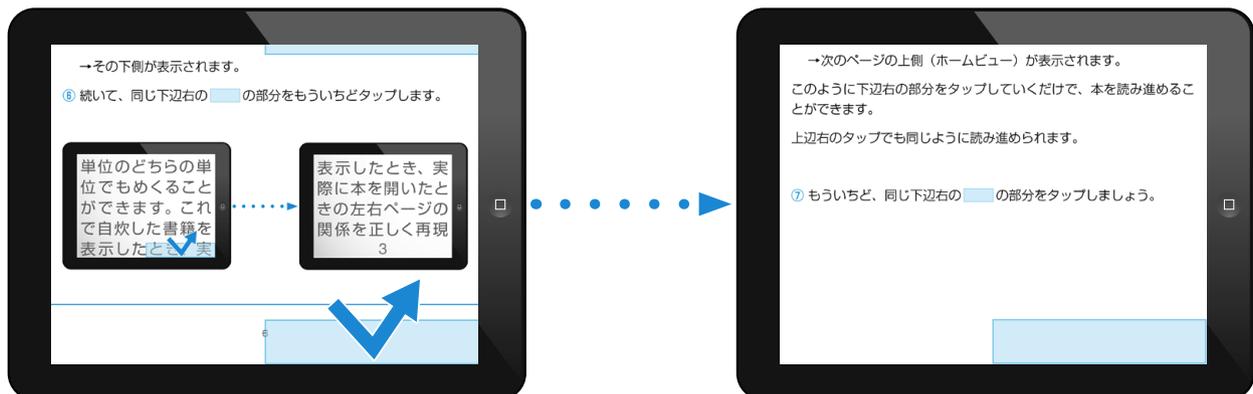
このように、上フリックと左フリックだけで、拡大表示のままページを読み進められます。

- ⑤ 今度は、画面の下辺右の  の部分をタップしてみてください。



→その下側が表示されます。

- ⑥ 続いて、同じ下辺右の  の部分をもういちどタップします。



→次のページの上側（ホームビュー）が表示されます。

このように下辺右の部分をタップしてだけで、本を読み進めることができます。

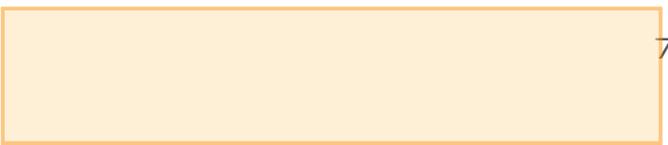
上辺右のタップでも同じように読み進められます。

⑦ もういちど、同じ下辺右の  の部分をタップしましょう。

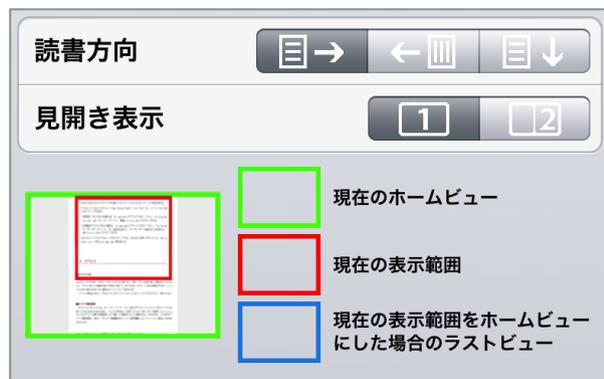


⑧ ここで、画面下辺左の  の部分をタップしてみてください。前のビューに戻れます。

上辺左のタップでも同じように前のビューに戻れます。



タップによるビュー単位の読み進め操作をするためには、ホームビューの下に2番目のビューが設定できるだけのスペースが空いている必要があります（この文書はあらかじめそのように設定されています）。詳しくは『スタートアップガイド』の P.24 をご覧ください。



ホームビューが大きくて、1 ページに1つのビューしか入らない場合は、上下辺のタップ操作で左右辺と同じくページめくりができます。



ホームビューが上半分程度でその下に同じ大きさのビューが取れる場合は、それをラストビューと呼びます（□部分）。



ホームビューが上半分程度でその下に1つ以上の同じ大きさのビューが取れる場合は、繰り返しの途中のビューが灰色で表示され、いちばん下のビューがラストビューになります。

## Smooth Reader ホームビューを使ってみよう

---

2012年12月 初版

パーソナルメディア株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-29-1 コイズミビル

<http://www.personal-media.co.jp/smoothreader/>

E-mail: [sr-sales@personal-media.co.jp](mailto:sr-sales@personal-media.co.jp)

---

© 2012 Personal Media Corporation